点検・整備チェックリスト

（販売店にチェック・記入を依頼してください）

✓：異状無し　A：調整、注油　△：修理　×：交換　C：掃除その他　ー：装着されていない部品

点検の箇所	点検項目	販売時	1回目 2か月	2回目 6か月	3回目 1年	4回目 1年半	5回目 2年	6回目 2年半	7回目 3年
フレーム・フロントフォーク	変形、折損、ヒビ割れは無いか	■							
	ヘッド、ハンガー小物にガタや摩耗は無いか	■							
ハンドル	固定は確実か、高さ、ハンドルステムの挿入量は適正か								
	変形、折損、軽く回転するか	■							
どろよけ	変形、取り付けは適正か	■							
キャリヤ	変形、ガタ、折損は無いか	■							
車輪	固定は確実か、フレーム、フロントフォークに接触していないか								
タイヤ	切傷、摩耗は無いか、空気圧は適正か								
リム	変形、振れは無いか	■							
スポーク	緩み、折れ曲がり、切損は無いか	■							
ハブ	ハブナットの緩み、玉押しのガタは無いか	■							
ギヤクランク	ギヤ板の振れ、ヒビ入り（軽合金）、曲がり、ガタは無いか、締め付けは十分か	■							
ペダル	固定は確実か、取り付け部（クランク側）にバリは無いか								
	軸の回転は正常か、変形、カシメ、ねじの緩み、ガタ、折損は無いか	■							
ブレーキ	利き具合は適正か								
	レバーの引き代に余裕はあるか、ワイヤ類にさびやほつれは無いか	■							
	ブレーキゴム類（ブレーキブロック、パッド、ライニング）の減りは無いか	■							
変速機	作動は確実か								
ベルト	ヒビ入り、歯欠け、折損は無いか、張りは適正か	■							
チェーン	油切れ、たるみは無いか、ギヤとの噛み合わせは適正か	■							
サドル	固定は確実か、高さ、シートポストの挿入量は適正か								
	取り付け位置、ガタ、損傷は無いか	■							
ライト	点灯、照射は正常か、破損は無いか、コード切れは無いか								
リフレクター	汚れ、ガタ、破損は無いか、点灯（テールランプ付）は正常か	■							
スタンド	作動は正常か、ガタ、変形、折損は無いか	■							
ベル・ブザー	作動は正常か、変形、緩みは無いか、よく鳴るか								
錠	作動は正常か、変形、緩みは無いか								
その他	各部のねじの緩み、損傷は無いか	■							
注油箇所	チェーン、ワイヤ、変速機、ブレーキレバー、スタンドの支点、バッテリーロックキー穴、錠前キー穴	■							
実施店　実施者氏名	実施日		年 ／	年 ／	年 ／	年 ／	年 ／	年 ／	年 ／	年 ／
保証書に印字されている品番および車体番号を転記してください 品番　車体番号	確認印		㊞	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞

パナソニック サイクルテック株式会社
〒582-8501　大阪府柏原市片山町 13 番 13 号

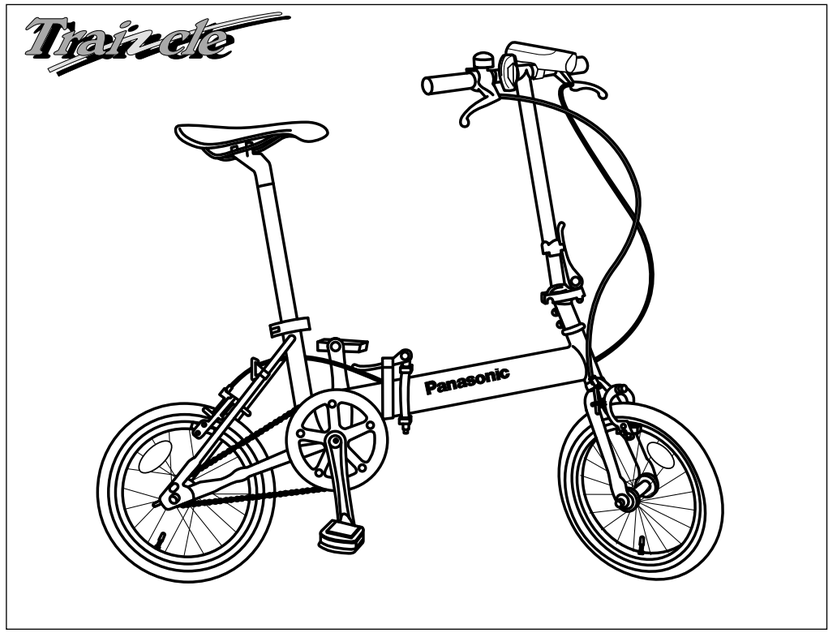
© Panasonic Cycle Technology Co., Ltd. 2010-2014

NYT1049 P0908-3044

Panasonic

取扱説明書
折りたたみ自転車

品番 B-PEHT323
B-PEMT323



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ●ご使用まえに「**安全上のご注意**」**（4 ～ 9 ページ）**を必ずお読みください。
- ●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ●製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡しください。
- ●**お子様がお使いになる場合は、**保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導ください

お願い
- ●この自転車は一般（普通）道路専用です。新聞配達など、業務用としてご使用にならないでください。
- ●安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。
- ●万が一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。
- ●必ず、販売店で**防犯登録**の申請手続きを行ってください。（法令で義務付けられています。）

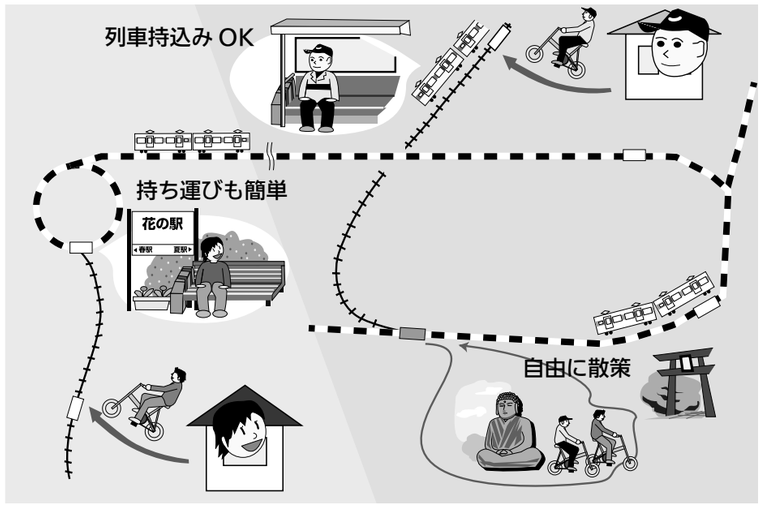
お知らせ
- ●この自転車にチャイルドシートを取付けることはできません
- ●この取扱説明書に記載のイラストは、イメージ図を使用しています。形状やデザインが、お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。

保証書別添付

今度の旅は自転車を連れて行こう！
～ Let's Traincling ! ～

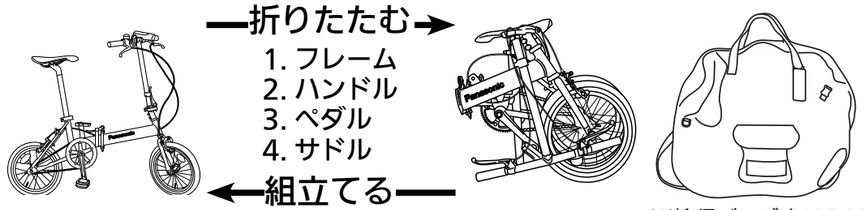
折りたたんで、列車やバスに持ち込めるから
行動範囲を広げて、想い出をふやそう！！

目的地で自転車を楽しむために、列車やバスへの持ち込みを考慮した
新しい折りたたみ自転車『トレンクル 6000 ／ 7000』です。



こまわりがきく自転車だから
車が入れないような狭い道やわき道も大丈夫。
新しい発見や出逢いを求めて
いつでも、どこでも、トレンクルと歩こう！

折りたたむのも組立てるのも工具なしで大丈夫。

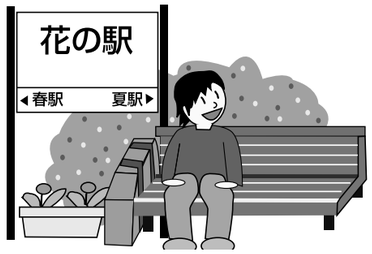


※輪行バッグ（NAR137）は
オプション（別売）です。

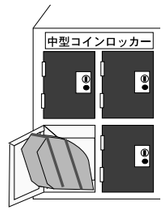
小さくて軽いから

●車内でじゃまにならない。

●持ち運びも簡単。



●中型コインロッカーに入る。



折りたたみ寸法
高さ　：550 mm
奥行き：583 mm
幅　　：350 mm

公共の交通機関（列車、バス、地下鉄等）を利用される場合のお願い

- ●オプションの輪行バッグに収納してください。
- ●交通機関の係員の指示に従ってください。
- ●他のお客様の邪魔にならないように気を付けてください。
- ●できるだけ安定した床面に置いてください。落下すると事故の原因になるので、網棚には載せないでください。
- ●自転車本体やオプションパーツに付いている警告マークや注意マークは、取り外さないでください。
- ●交通機関によっては、乗車運賃以外に別途手荷物料金が必要な場合があります。

もくじ

乗るまえに

- ●安全上のご注意・・・・・・・・・・4
- ●各部のなまえ・・・・・・・・・・10
- ●乗るまえの準備・・・・・・・・・12
- ●乗るまえの点検・・・・・・・・・18
- ●乗るまえの調整・・・・・・・・・21

乗りかた

- ●乗ったあとは・・・・・・・・・・24

必要なとき

- ●保管／廃棄／運搬・・・・・・・・27
- ●お手入れ／注油について・・・・28
- ●定期点検／アフターサービス・・30
- ●盗難補償・・・・・・・・・・・・31
- ●オプション・・・・・・・・・・・32
- ●仕様・・・・・・・・・・・・・・33

安全上のご注意(1)

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

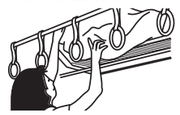
⃠ ✋	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために次のことを守りましょう!

⚠ 警告

■網棚には載せない

⃠ 禁止



落下しやすく、事故発生によるけがのおそれがあります。

●他の人に迷惑がかからないように車内の隅や足下に置いてください。

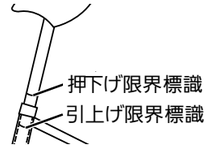
■リヤキャリヤは取り付けない

⃠ 禁止

フレームが破損し、転倒によるけがのおそれがあります。

■サドル高さは、上と下にあるはめ合わせ限界標識の間で調整する

❗



シートポストが折れたり、段差に引っ掛けて転倒によるけがのおそれがあります。

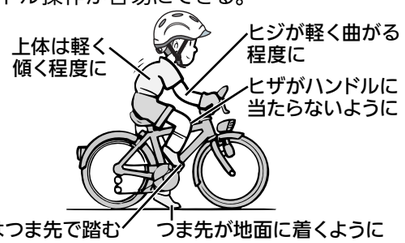
安全上のご注意(2)

必ずお守りください

■乗るまえに

まず体に合わせてください

●図のように販売店で調整してもらってください。
●操作して確認してください。
①円滑なペダリングができる。
②ブレーキや変速機が確実に操作できる。
③ハンドル操作が容易にできる。

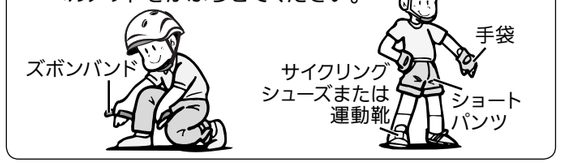


必ず点検をしてください

●必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。
●わからないときは販売店に相談してください。
●未組立及び未調整の自転車は使用しないでください。

安全な服装で乗ってください

(車輪に巻き込まれやすい服装はしない)
●ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っかかりなどを防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めてください。
●児童(13 歳未満の者)・幼児の保護者は、お子様が乗車するとき、かならずヘルメットをかぶらせてください。



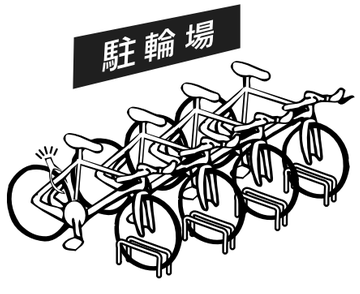
乗る練習は必ず行ってください

●練習を空地や公園など安全な場所で、行ってください。
●よく練習してから一般道路でお乗りください。

■乗ったあとは

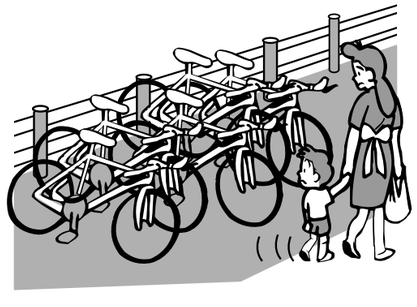
決められた場所に駐輪してください

●駐輪するときは、他の人に迷惑にならないよう、決められた場所にとめましょう。
●盗難防止のため、必ず鍵をかけましょう。



自転車放置禁止

●自転車の放置は、他の人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。



■自転車の交通安全ルールを守りましょう

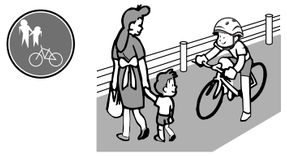
※違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

自転車は、車道通行が原則です

●歩道と車道の区別のある所は自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。(路側帯がある場合でも、自転車の通行は道路の左側部分に設けられた路側帯に限定されます。)

次の様な場合は、歩道通行ができます

(そのときにも歩道は歩行者優先、車道よりを徐行)
●自転車歩道通行可の標識などで指定されている場合。
●運転者が児童、幼児、70歳以上の場合。
●車道や交通の状況からみてやむを得ない場合。

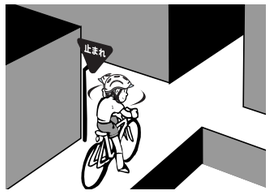


30 kgを超える荷物を積載しない

●ただし、自転車や取扱説明書等へ積載条件の記載がある場合はそちらを守ってください。

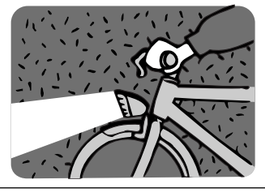
交差点では一時停止と安全確認を

●一時停止の標識を守り、広い道に出るときは、徐行と安全確認を。
●信号機がある場合は、信号を必ず守りましょう。



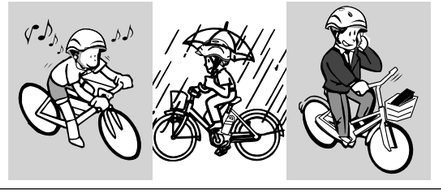
夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行しましょう

●夜の無灯火運転は交通違反です。
●暗いところではライトを点けて通行しましょう。



次の様な運転はしない

●ヘッドフォンを使用しながらの運転。
●傘さし運転。
●携帯電話を操作しながらの運転。



二人乗り、並進、飲酒運転は禁止

●6歳未満の子供をチャイルドシートに一人乗せる場合などを除き、二人乗りは禁止です。(幼児二人同乗用自転車を除く)
●「並進可」標識のある場所以外は並進は禁止です。
●飲酒運転は禁止です。

安全上のご注意(3)

必ずお守りください

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために、乗りかたや交通ルールを守りましょう。
安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。

交通事故を防ぐために

自動車や子供に注意！
安全を確認し、乗りましょう

車の横を走るときに！

開くドアや人の飛び出しに注意する

⚠

学校や公園が近くにあるときに！

子供の飛び出しに注意する

⚠

交差点を通るときに！

左折車に巻き込まれないように注意する

⚠

転倒事故を防ぐために

こんなとき

■雨・風・雪のひどいときは乗らない

禁止

バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

■合図以外は、ハンドルから手を離さない

禁止

バランスがとりにくく、転倒によるけがのおそれがあります。

こんな場所

■滑りやすい所では乗らない(積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど)

禁止 スリップして、転倒によるけがのおそれがあります。

●降りて、押して歩いてください。

■凹凸の激しい所を走らない(歩道の段差や、溝など)

禁止 フレームや車輪の損傷や転倒によるけがのおそれがあります。

●降りて、押して歩いてください。

こんな乗りかた

■巻き込みやすいものを車輪やギヤに近接させて乗らない(長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど)

禁止

車輪やギヤに巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。

■傘やステッキ、釣りざおなどを車体に差し込んだり、釣り下げたりして乗らない

禁止

車輪に巻き込み、他の人や物にぶつけて事故や転倒によるけがのおそれがあります。

■土踏まずやかかとでペダルを踏まない

禁止

カーブでつま先が前車輪に当たり転倒によるけがのおそれがあります。

■滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない

禁止

ペダルから足が外れ、転倒によるけがのおそれがあります。

■手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつないだりしない

禁止

荷物やひもが、車輪に巻き込まれ、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

■カーブで曲がる側のペダルを下げない

禁止

ペダルが地面と接触し、転倒によるけがのおそれがあります。

こんな使いかた

■走行以外に使わない(踏み台代わりなど)

禁止

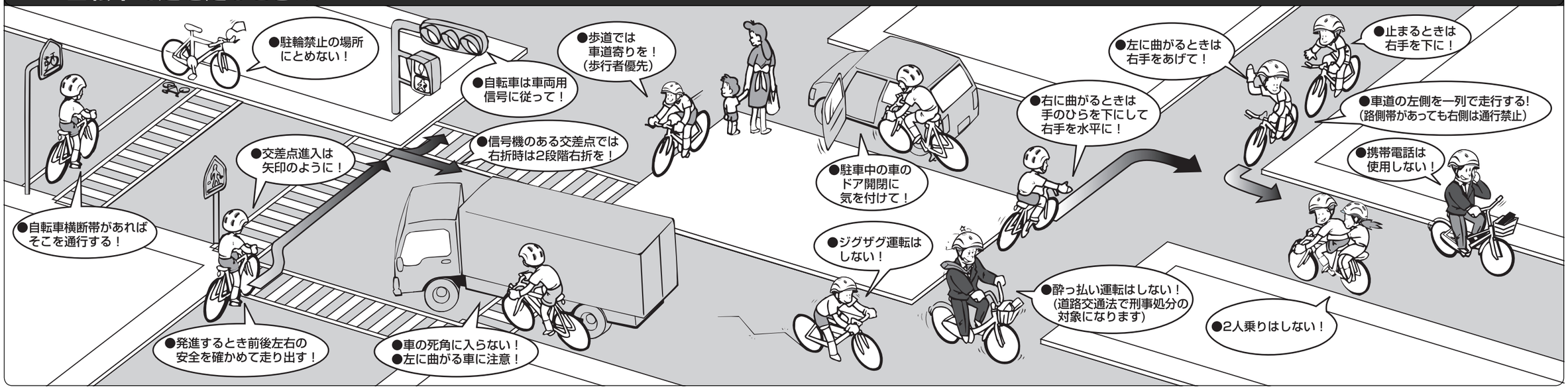
転倒によるけがのおそれがあります。

■スポークの間に固形物(ボールなど)を入れて走らない

禁止

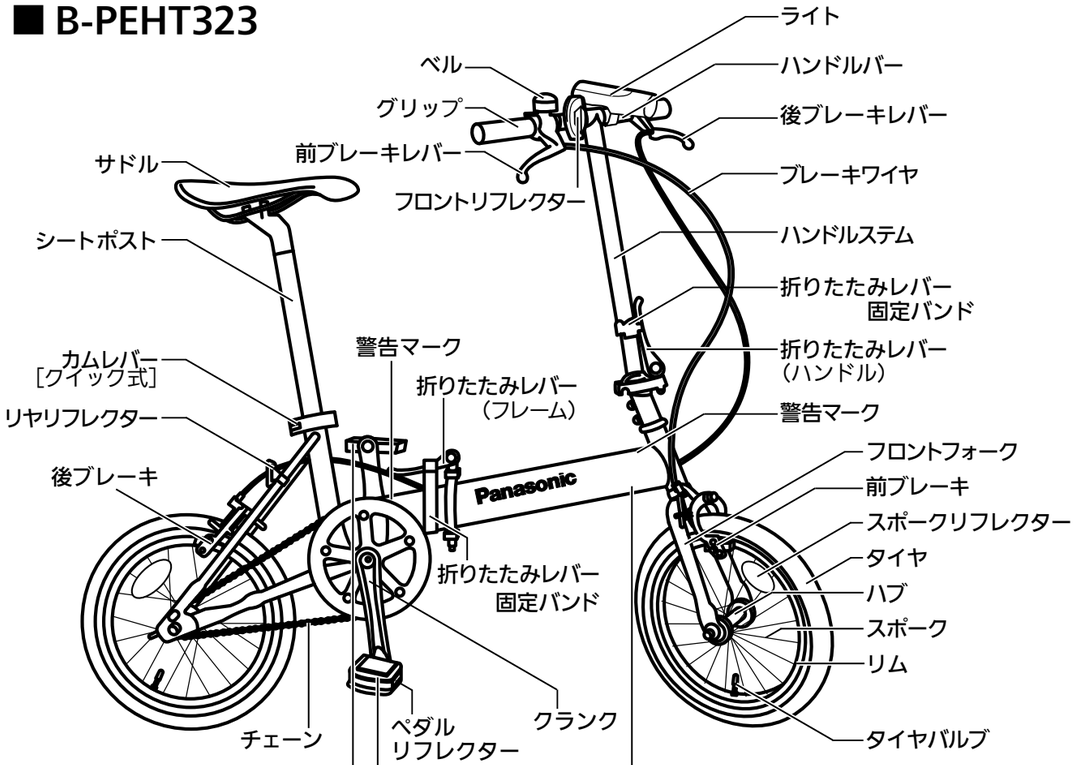
車輪に巻き込まれて転倒によるけがのおそれがあります。

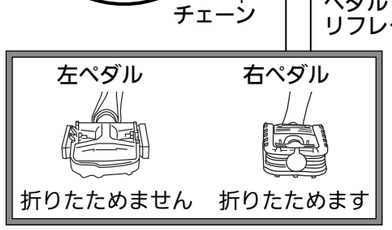
自転車で道を走るときのルール・マナー



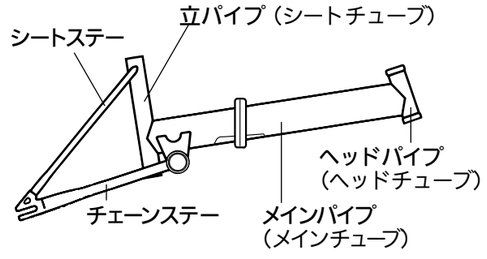
各部のなまえ

■ B-PEHT323

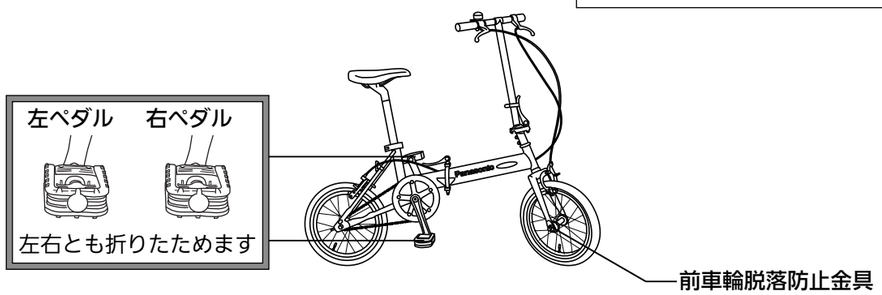




■フレーム体



■ B-PEMT323



■付属品

⚠ 警告

■走行時ワイヤ錠を車輪の近くやハンドルにぶらさげない

禁止 スポークに巻き込んだり、ハンドルがとられて転倒によるけがのおそれがあります。

●取扱説明書　●保証書　●ご愛用者登録はがき（プライバシー保護シール付）

●ワイヤ錠　1 本　●ベルト

キー番号プレートは、ワイヤ錠から外して、別の場所に保管しておくことをお勧めします。

お知らせ

●忘れ防止のため、本書 35 ページにキー番号を控えておくことをお勧めします。

⚠ 警告

■調整後の締め付けを確認せずに乗らない（車輪の脱着やサドルなど）

禁止 車輪などが外れて、転倒によるけがのおそれがあります。

■改造や分解、また指定以外の注油はしない

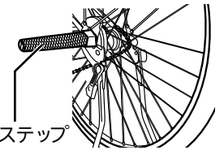
禁止 部品の破損や、ブレーキが利かなくなって転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

■安全装置は取り外さない

禁止 外したまま使用すると、事故発生によるけがのおそれがあります。

■ハブステップなどの突出物を装着しない

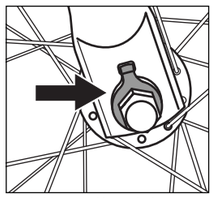
禁止



歩行者などに、危害をおよぼすおそれがあります。

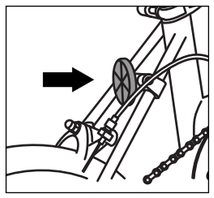
■安全装置

前車輪脱落防止金具〈PEMT のみ〉



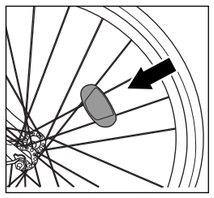
前車輪の脱落を防止します

リヤリフレクター（後部反射器）



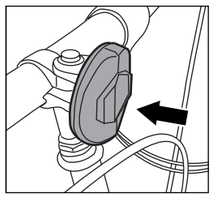
後からの光を反射します

スポークリフレクター



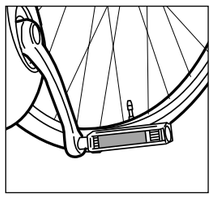
横からの光を反射します

フロントリフレクター（前部反射器）



前からの光を反射します

ペダルリフレクター



前後からの光を反射します

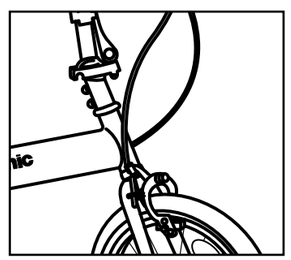
※リフレクターが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。
（リヤリフレクターが破損したままでの夜間乗車は法令違反になります。）

■車種品番

●車種品番の見方
（例：B-PEHT323 の場合）

B-PEHT323 S
車種品番　色

ヘッドパイプに貼付しています。



■車体番号（刻印位置）

防犯登録に必要です。
7 文字(数字と英字)で、表示しています。

乗るまえの準備(1)

組立手順

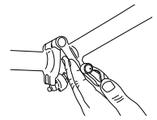
わからないときは、販売店にご相談ください。

1. フレーム体を組立てる。

⚠ 警告

■メインパイプのジョイント部分を持って開閉しない

禁止

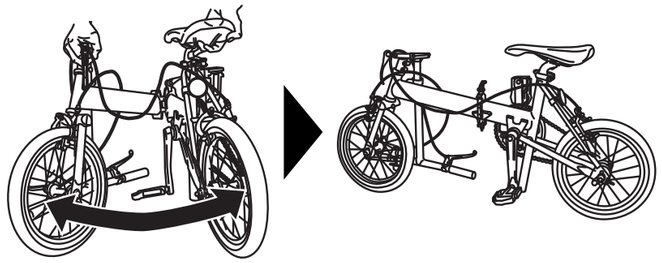


指や手を挟んでけがをするおそれがあります。

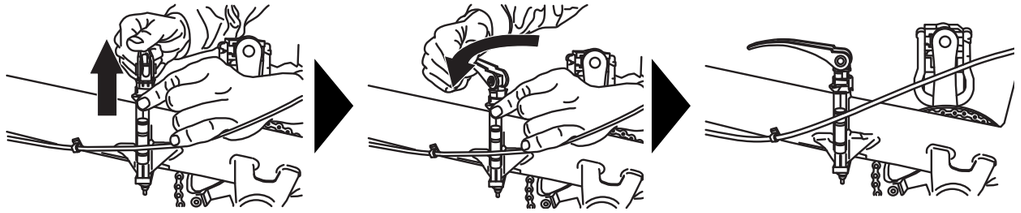
■折りたたみレバーの調整はしない

走行中に折りたたみ機構が開放し、転倒によるけがのおそれがあります。

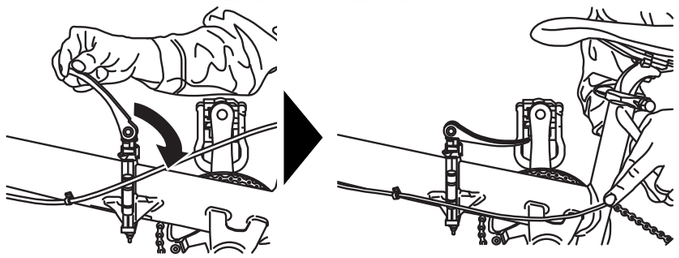
①フレーム体を開く



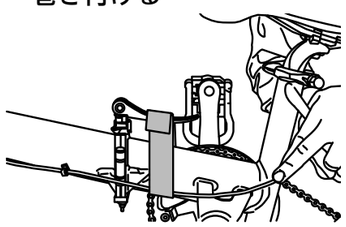
②**折りたたみレバーの台座を持ち上げてから、折りたたみレバーを反時計方向**（ハンドル側）**に 90°回転させる**（レバー操作がわかりやすいように固定バンドの図を省略しています。）



③**折りたたみレバーを後方**（サドル側）**に倒す**（レバー操作がわかりやすいように固定バンドの図を省略しています。）

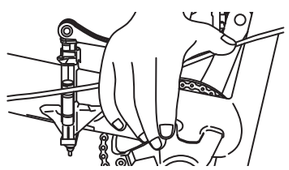


④**折りたたみレバー固定バンドを巻き付ける**



お願い

●右図のように、折りたたみレバーを強く押さえつけるようにしないと倒れない場合は、販売店にご相談ください。



2. ハンドルを組立てる。

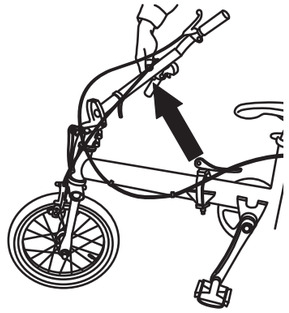
⚠ 警告

■ジョイント部分を持ってハンドルを起こさない

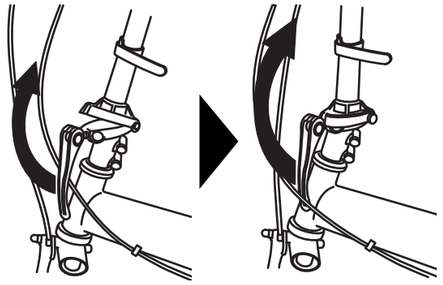
禁止

指や手を挟んでけがをするおそれがあります。

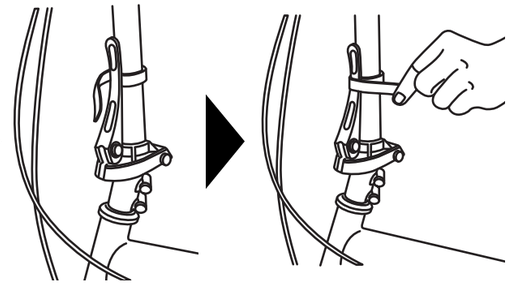
①ハンドルを立てる



②折りたたみレバーを上げて



③折りたたみレバー固定バンドを巻きつける



3. ペダルを組立てる。

B-PEHT323 は右のみ
※左ペダルは固定ペダルのため、折りたためません。
B-PEMT323 は左右

⚠ 警告

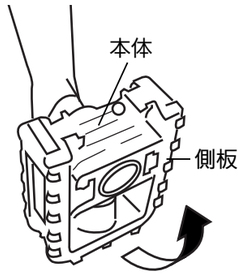
■側板と本体の間に指を入れない

禁止　指や手を挟んでけがをするおそれがあります。

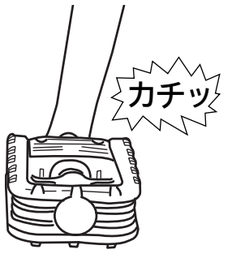
■組み立て後はがたつきが無いか点検する

踏み外して転倒によるけがのおそれがあります。

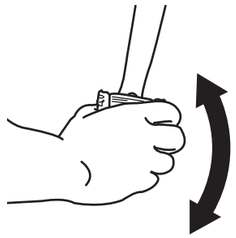
①側板を水平に上げる



②側板を「カチッ」と音がするまで上にあげる



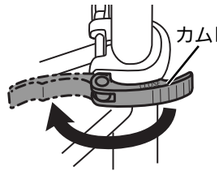
③側板が上下に折れ曲がらないことを確認する



4. シートピンの初期調整をする。

⚠ 警告

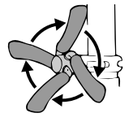
■カムレバーは、前方向に確実に倒す



固定が外れ、転倒によるけがのおそれがあります。

■カムレバーを回転させて締め付けない

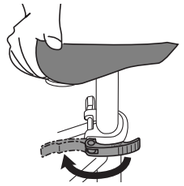
禁止



シートポストが折れたり、カム機構が動かなくなって転倒によるけがのおそれがあります。

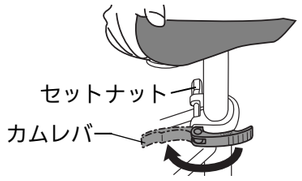
⚠ 注意

■カムレバーを緩めるときは、サドルを支え持つ

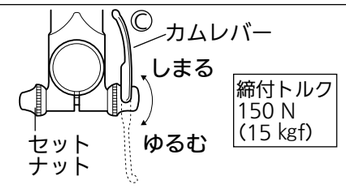


サドルが落下し、手や指を挟んでけがをするおそれがあります。

①サドルを支え持ちながらカムレバーを起こす

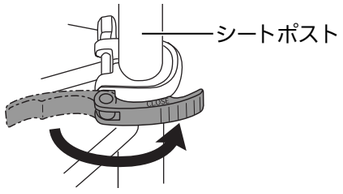


②セットナットを回転させ、固定の強さを調整する



クイックシートピンでシートポストを固定するとき、カムレバーが、◎の位置でシートポストの固定がゆるい場合はカムレバーをいったん起こし、セットナットを 1/2 ～ 1 回転締込み、再度カムレバーを◎の位置まで倒してください。

③シートポストの固定は、カムレバーを回転させずに、起倒によって固定する



■ライトの取扱い

⚠ 警告

■ライトの取り付けが緩んだまま、走行しない

禁止 前方を照らす角度が狂い、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
●乗るまえに点検してください。

■走りながら、切替スイッチの操作をしない

禁止 衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

■夜間や視界の悪いときは点滅状態や無灯火で乗らない

禁止 衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
●ライトがつかないときや点滅状態のときは、押して歩いてください。無灯火や点滅状態での夜間乗車は法令違反になります。

■目に光を当て続けない

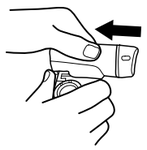
禁止 目を痛める原因となります。

●取付、取外しかた

ボタンを押しながら前後にスライドさせて取付、取外しをします。

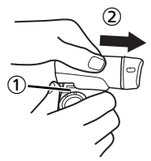
取付かた

①ライトをガイドに合わせてスライドさせ「カチッ」と音がするまで後方に押し込む。



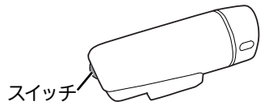
取外しかた

①ボタンを押しながら
②前方に引き抜く。



●点灯のしかた

お好みのモードにスイッチを操作します。



●スイッチは 1 回押すごとに点滅⇒標準点灯⇒強点灯を繰り返します。
●スイッチを 1 秒以上長押しすると消灯します。
●消灯後はスイッチを押すと、消灯させたときのモードから開始します。
※長押ししても ON にはなりません。

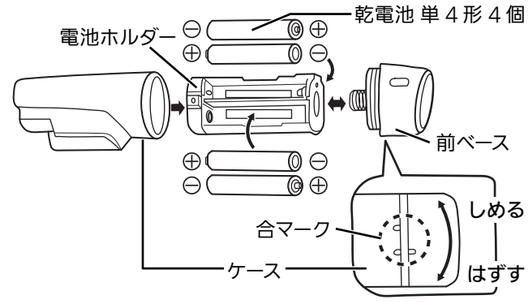
●照らす位置

お願い

●角度の調整は販売店にご相談ください。
●対向者にまぶしくならない角度に調整してください。

●電池の交換方法

①前ベースをはずし、電池ホルダーを引き出します。
②電池を極性に注意しながら電池ホルダーに入れます。
③電池ホルダーをケースに入れます。
※方向性があります。逆には入りません。
④前ベースをしめます。
※前ベースとケースのマークを合わせ次のマーク(カチット感がある) までしっかりしめます。



お知らせ

●使用時間の目安は、標準点灯 24 時間(アルカリ電池使用時) です。
●内部の LED は基板直付のため交換はできません。
●出荷時はモニター電池を入れておりますので、お早めに電池の交換をお勧めします。

お願い

●取り替えた電池は、地域で定められた条例に従って、処理してください。

■ 乾電池の取り扱い

⚠ 危険

■電池の電解液が目、皮膚、衣服に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受ける

失明やけがのおそれがあります。

⚠ 警告

■乾電池は次のような使いかたをしない

禁止
●充電しない
●電池を火の中に投入しない
●新旧・異種の電池を混用しない
●電池をショートさせない
●電池の⊕⊖を逆にして使用しない
●使用済電池を使用しない

使いかたを誤ると、電池が発熱・液もれ・破裂し、けがのおそれがあります。

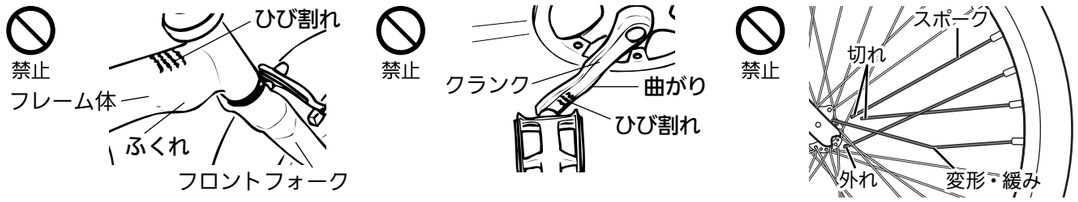
乗るまえの点検(1)

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

安全にご乗車いただくため、乗るまえにつぎの点検、調整と走行テストを実施する習慣をつけましょう。

⚠ 警告

■各部にガタや緩みおよび、変形・ひび割れなどがあるときは乗らない



折れて転倒による、けがのおそれがあります。
●ひび割れや変形を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をしてください。
●フロントフォークは衝突などの強い力を受けたとき、変形することによって乗員や車体への衝撃を和らげるように設計してあります。衝突や転倒など強い衝撃が加わったあとは、フロントフォークに変形やひび割れなどの異常が無いか点検してください。
●スポークが１本でも切れたまま使用を続けると、他のスポークに負担がかかり寿命が短くなります。切れ・変形・緩みのあるスポークは直ちに交換してください。できれば、すべてのスポークを交換されることをお勧めします。

■乗るまえの点検は、必ず実施する

事故や転倒によるけがのおそれがあります。
●前後ブレーキの利き、作動の点検をしてください。
●ハンドル・ハンドルステム・ペダル・フレームが、確実に固定されているか点検してください。
●前後車輪が、確実に固定されているか点検してください。
●前後タイヤの空気圧が適正か点検してください。
●ワイヤ類(ブレーキ) がたるんだりさびたりしていないか確認してください。。

■点検で変形や曲がり、ひび割れなどの異常があったときは、乗車しない

禁止
事故や転倒によるけがのおそれがあります。
●異常があったときは販売店にご相談ください。

■カーボンフロントフォーク(PEHT323 のみ) は、一度でも大きな衝撃(衝突 / 落下 / 転倒など) を受けた場合、外観に損傷がなくても使用しない

禁止
走行中に突然の折損により転倒し、けがのおそれがあります。
●販売店に点検・整備をご相談ください。

カーボンフォークの取り扱い

⚠ 注意

■衝撃を受けるような取り扱い (落下など) はしない

禁止
衝撃が分散されずクラック (ひびわれ) が入る原因となります。

■走行中にかかる応力以外の力を加えない

禁止
破損する原因となります。
●車輪をつけずに横から力を加えたり、上に乗ったりしないでください。

■フォークに焼き付け塗装はしない

禁止
ひずみが発生し破損する原因となります。
●常温乾燥タイプの塗料をご使用ください。

■鋭利なもので押さえたりたたいたりしない

禁止
穴があく原因となります。
●輸送時はフレームに緩衝材を当てて保護してください。

■高温になる所に放置しない

禁止
ひずみが発生し破損する原因となります。

■塗装をおかす薬品 (剥離剤など) は使用しない

禁止
樹脂を劣化させ破損する原因となります。

お願い

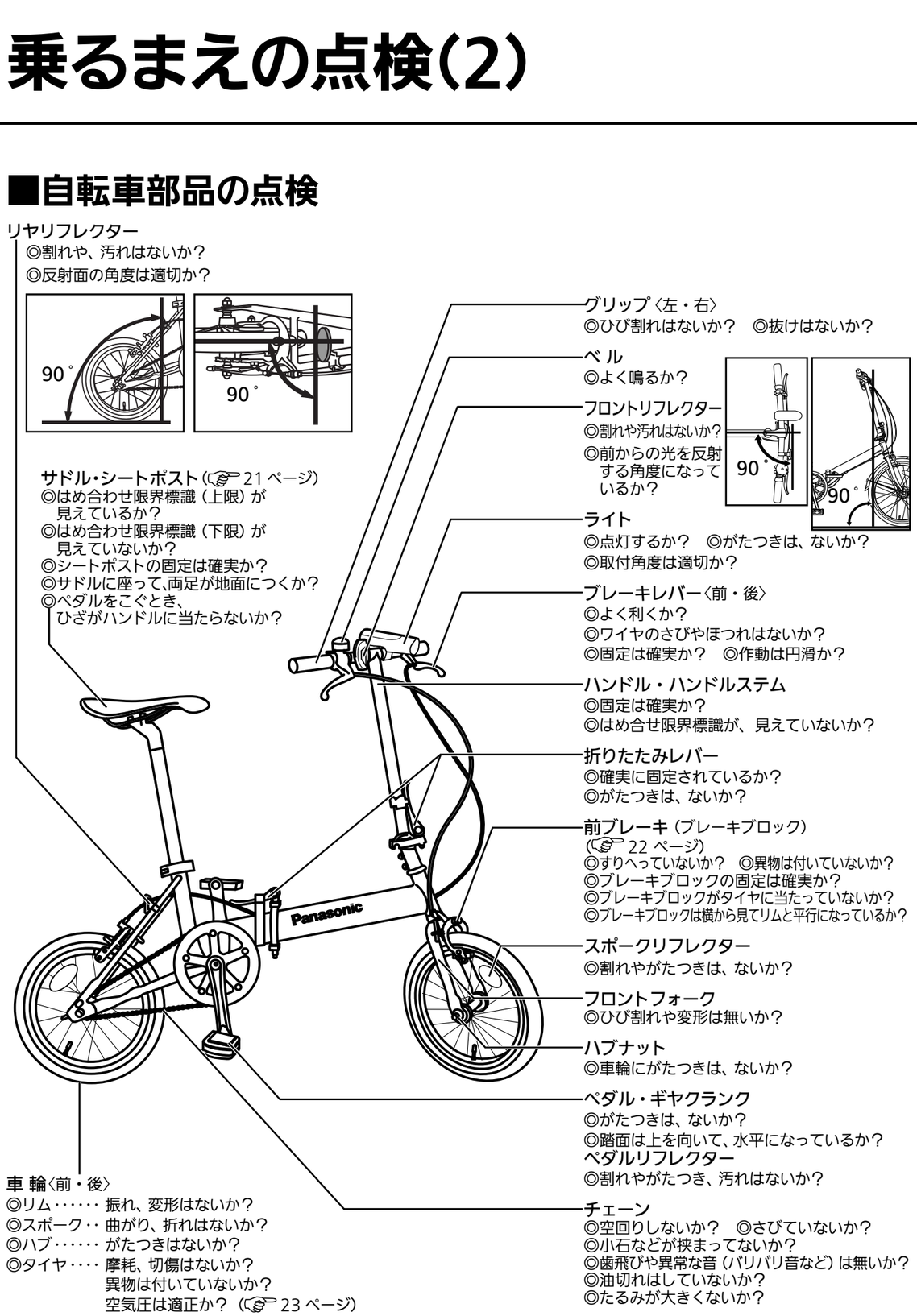
●チタン製フレームは、他の材質のフレームに比べ、耐食性が強く、経年時にも購入時と変わらない外観を保ちます。しかし、外観が良好であっても、過酷な使用や、長期間の通常使用で疲労が蓄積されている場合があります。日常点検・乗車まえのフレームの点検を充分に行ってください。
●カーボンフォーク (PEHT323 のみ) は炭素繊維強化樹脂成形品のため、折れ、ヘコミ等の修理はできませんのでご了承ください。

乗るまえの点検(2)

■自転車部品の点検

リヤリフレクター
◎割れや、汚れはないか？
◎反射面の角度は適切か？

サドル・シートポスト（☞21 ページ）
◎はめ合わせ限界標識（上限）が見えているか？
◎はめ合わせ限界標識（下限）が見えていないか？
◎シートポストの固定は確実か？
◎サドルに座って、両足が地面につくか？
◎ペダルをこぐとき、ひざがハンドルに当たらないか？



車 輪〈前・後〉
◎リム…… 振れ、変形はないか？
◎スポーク‥ 曲がり、折れはないか？
◎ハブ…… がたつきはないか？
◎タイヤ…． 摩耗、切傷はないか？
異物は付いていないか？
空気圧は適正か？（☞23 ページ）

グリップ〈左・右〉
◎ひび割れはないか？　◎抜けはないか？

ベ ル
◎よく鳴るか？

フロントリフレクター
◎割れや汚れはないか？
◎前からの光を反射する角度になっているか？

ライト
◎点灯するか？　◎がたつきは、ないか？
◎取付角度は適切か？

ブレーキレバー〈前・後〉
◎よく利くか？
◎ワイヤのさびやほつれはないか？
◎固定は確実か？　◎作動は円滑か？

ハンドル・ハンドルステム
◎固定は確実か？
◎はめ合せ限界標識が、見えていないか？

折りたたみレバー
◎確実に固定されているか？
◎がたつきは、ないか？

前ブレーキ（ブレーキブロック）（☞22 ページ）
◎すりへっていないか？　◎異物は付いていないか？
◎ブレーキブロックの固定は確実か？
◎ブレーキブロックがタイヤに当たっていないか？
◎ブレーキブロックは横から見てリムと平行になっているか？

スポークリフレクター
◎割れやがたつきは、ないか？

フロントフォーク
◎ひび割れや変形は無いか？

ハブナット
◎車輪にがたつきは、ないか？

ペダル・ギヤクランク
◎がたつきは、ないか？
◎踏面は上を向いて、水平になっているか？

ペダルリフレクター
◎割れやがたつき、汚れはないか？

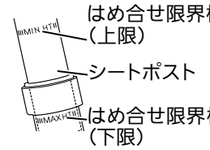
チェーン
◎空回りしないか？　◎さびていないか？
◎小石などが挟まってないか？
◎歯飛びや異常な音（バリバリ音など）は無いか？
◎油切れはしていないか？
◎たるみが大きくないか？

乗るまえの調整(1)

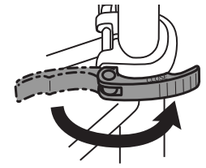
■サドルの調整

⚠ 警告

■上と下にあるはめ合せ限界標識の範囲内で調整する



■カムレバーは、前方向に確実に倒す



シートポストが折れたり、固定が不安定になり、転倒によるけがのおそれがあります。

■調整後は必ずがたつきやずれがないかを点検する

シートポストが折れたり、固定が不安定になり、転倒によるけがのおそれがあります。

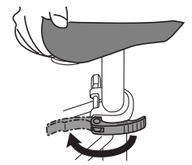
■カムレバーを回転させて締めつけない

禁止

シートポストが折れたり、カム機構が動かなくなって転倒によるけがのおそれがあります。

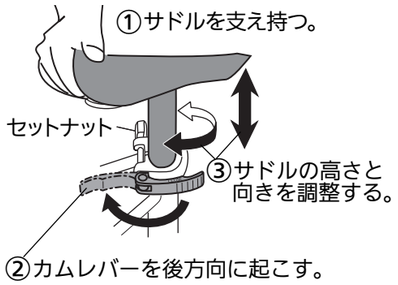
⚠ 注意

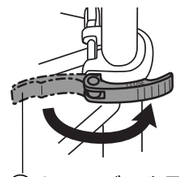
■カムレバーを起こすときは、サドルを支え持つ



サドルが落下し、手や指をはさんでけがをするおそれがあります。

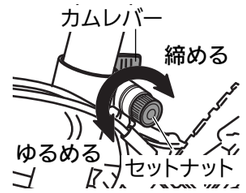
●高さと向きの調整





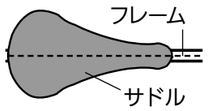
④カムレバーを回転させずに、前方向に倒す。

●シートピンの調整

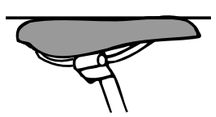


※カムレバーの固定の調整は、カムレバーを起こし、セットナットを回転させて行ってください。

●サドルの正しい方向と角度



フレームと平行に合わせる。



サドルの上面と地面を平行にする。

お願い
●角度の調整は販売店にご相談ください。

乗るまえの調整(2)

わからないときは、お客様相談窓口にご相談ください。

■ブレーキの調整（販売店に依頼してください）

⚠ 警告

■ブレーキレバーの遊びが大きいままや、小さいままで走行しない

禁止

ブレーキが利かなくなったり、利き過ぎたりすることがあり、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。
●ブレーキが利かないときやブレーキレバーの遊びが不適切なときは、すぐに販売店で点検を受けてください。

■ロックナットは確実に締め付ける

ブレーキの調整が狂い転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

■音鳴りがしたり、ブレーキが利き過ぎたりする場合は使用しない

禁止

転倒や衝突によるけがのおそれがあります。
●すぐに販売店で点検を受けてください。

⚠ 注意

■走行直後は、ブレーキ部に手を触れない

接触禁止

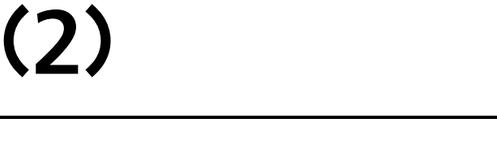
ブレーキ部が高温になり、やけどの原因になります。

お知らせ

●平成 25 年 12 月 1 日より、制動装置（ブレーキ）に不備のある自転車と認められる自転車が運転されているときは警察官が停止させ検査ができるようになりました。停止や検査を拒んだり、運転継続禁止命令に従わなかった場合は罰金が科せられる場合があります。

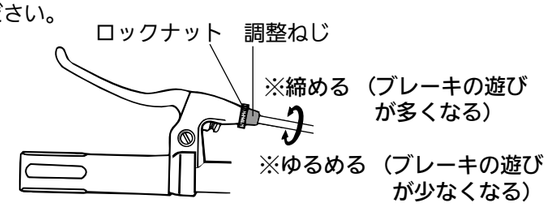
●ブレーキレバーとグリップの間隔

ブレーキレバーとグリップの間隔は、開放時の 2/3 ～ 1/2 の位置で、ブレーキが利くように、調整する。



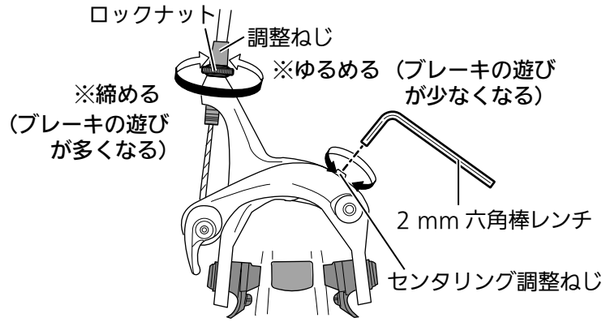
●ブレーキの調整

ブレーキをかけてよく利かない場合、もしくはブレーキが引きずった場合には、ロックナットをゆるめる（締める）。調整ねじで調整したあと、ロックナットを必ずもとどおり確実に締めつけてください。それでも調整できない場合は、販売店に調整を依頼してください。



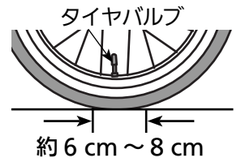
●前後ブレーキ

①ロックナットをゆるめる。
②調整ねじを回す。
③センタリング調整ねじで、リムと前ブレーキブロックのすき間が左右均等になるように調整する。
④走行してブレーキの利きを確認する。
⑤調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを確実に締め付ける。



■空気圧の点検（前後のタイヤ）

B-PEHT323 は、軽量ポリウレタンチューブを使用しています。
（目安として、1 週間に 1 度程度、空気圧の確認をお願いします。）



●適正な空気圧

自転車に乗った状態で接地部の長さが、約 6 cm ～ 8 cm 程度が、適正です。
圧力計のついたポンプでは、空気圧の測定が可能です。
圧力計のついたポンプでは、タイヤ側面の空気圧表示を目安にしてください。

〈参考〉タイヤ側面の空気圧表示

PSI 表示	20	30	40	50	60	70	80	90	100
kPa 表示	140	210	280	350	420	490	560	630	700
kgf/cm² 表示	1.4	2.1	2.8	3.5	4.2	4.9	5.6	6.3	7.0

●空気の入れかた

● B-PEMT323 は ⇨ 自転車用の手押しポンプ（英式バルブ用）を使って空気を入れます。
● B-PEHT323 は ⇨ プランジャーナットを 3 ～ 4 回転ゆるめて、プランジャーナットを押して空気を少し抜いてから空気を入れます。

プランジャーナット

この部分は細いので折らないようにご注意ください。
アダプター (後タイヤに装備しております) を使えば一般の手押しポンプが使えます。

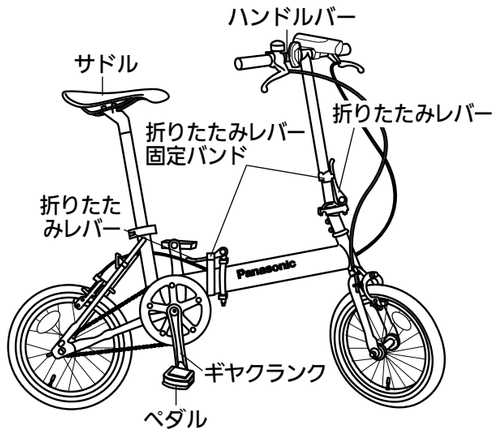
お願い

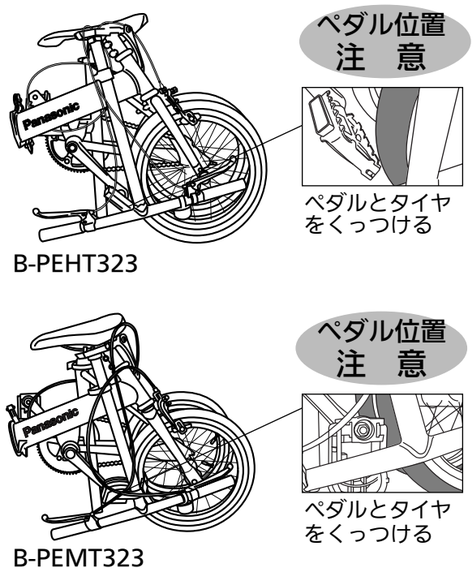
●空気を入れ終わったら、プランジャーナットを必ず閉めてください。

お知らせ

●空気圧が少ないとパンクや、タイヤ、リムを損傷させる原因になります。
特に B-PEHT323 は、軽量ポリウレタンチューブを使用しているため、一般のチューブに比べて、空気が抜けやすくなっております。
必ず、乗るまえに空気圧を確認し、適正空気圧になるように空気を補充してください。
●長期間使用しない場合は空気圧は自然に減ります。
●タイヤバルブの型式は B-PEMT323 は英式、B-PEHT323 は仏式です。
● B-PEHT323 のパンク修理はイージーパッチキット（RK-EASY）[パナソニックポリテクノロジー製] をご利用ください。

乗ったあとは…(1)

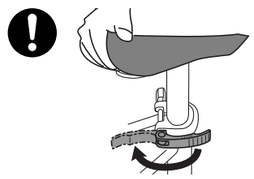




1. サドルを下げる。

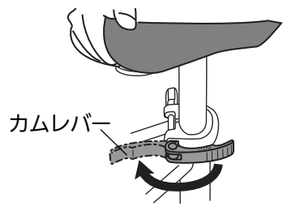
⚠ 注意

■カムレバーを起こすときは、サドルを支え持つ

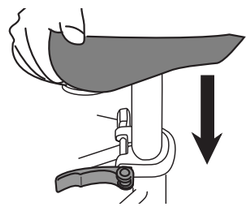


サドルが落下し、手や指をはさみけがのおそれがあります。

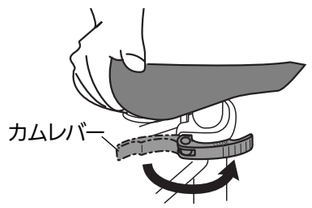
①サドルを支え持ちながら
カムレバーを起こす。



②サドルを下げる。



③カムレバーを回転させずに、
起倒によって締付ける。

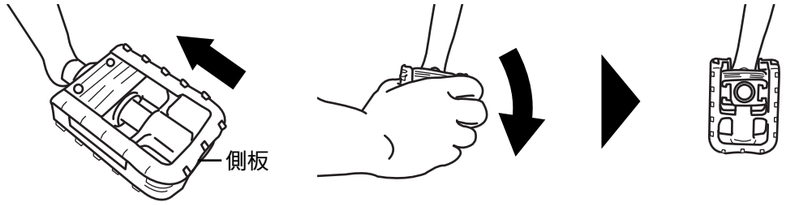


2. ペダルを折りたたむ。

B-PEHT323 は右のみ
※左ペダルは固定ペダルのため折りたためません。
B-PEMT323 は左右

①側板の外側を持って、
本体側に押し込む

②側板を押し込みながら、下方向に側板を下げる



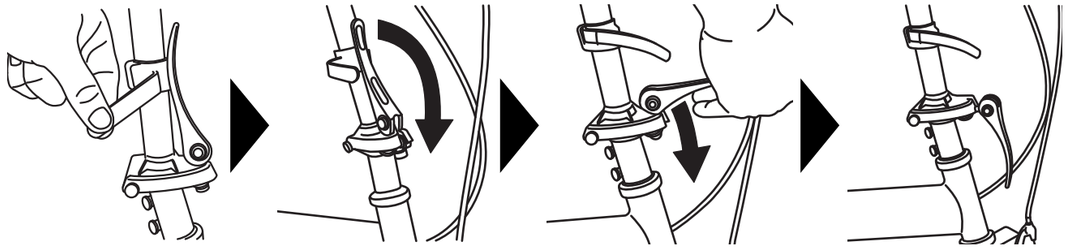
⚠ 注意

■側板の外側を持って作業する

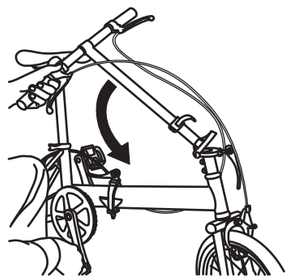
手や指をはさみけがのおそれがあります。

3. ハンドルを折りたたむ。

①折りたたみレバー固定バンドを外し、折りたたみレバーを下げる



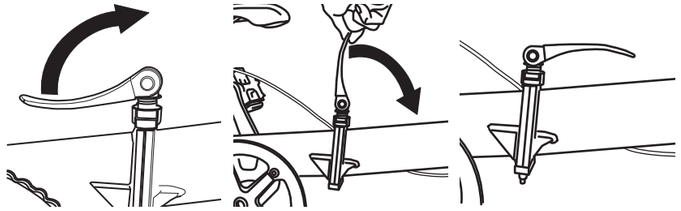
②ハンドルを折りたたむ



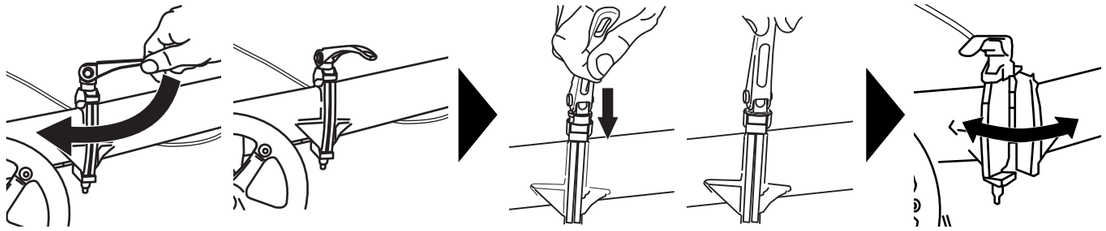
4. フレーム体を折りたたむ。

①折りたたみレバー固定バンドをはずす

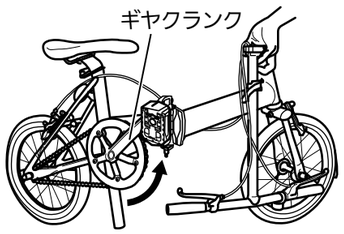
②折りたたみレバーを前方（ハンドル側）に倒す（以降の図はレバー操作がわかりやすいように固定バンドの図を省略しています。）



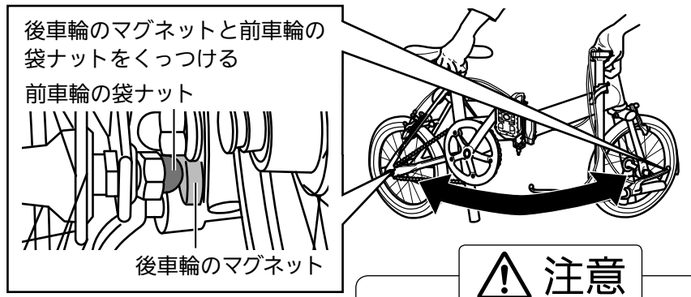
③折りたたみレバーを時計方向に 90˚ 回転させる（折りたたみレバーの台座が溝にはまり込む）



④ギヤクランクを回転する



⑤フレーム体を折りたたむ



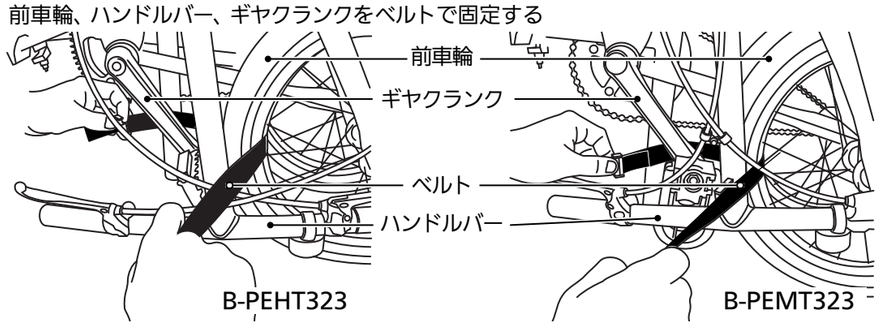
⚠ 注意

■ジョイント部分を持って閉じない

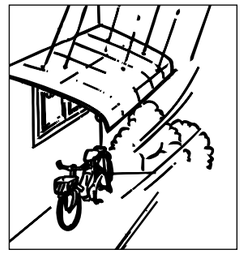
禁止　指や手をはさんでけがをするおそれがあります。

⑥ベルトを装着する

前車輪、ハンドルバー、ギヤクランクをベルトで固定する



保 管 ／ 廃 棄



■保管場所は、

●雨がかかりにくい場所に保管してください。
●雨がかかるところでは、市販の「サイクルカバー」のご使用をおすすめします。
※長期保管後、再使用される場合は、販売店で点検・調整のうえ、ご使用ください。

■廃棄するときは、

●自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。

■タイヤの管理

●空気を適正空気圧まで入れてください。（☞ 23 ページ）

運 搬

⚠ 注意

■サドルを持ち上げて移動させない

禁止　サドルバネやベースが破損し、けがをするおそれがあります。

お手入れ／注油について

お 手 入 れ

■日常のお手入れ

●乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
●がんこな汚れには、台所用洗剤(中性) を薄めてご使用ください。

■汚れがひどいとき

●水洗いし乾燥させたあと、各部に注油してください。
●注油禁止場所には注油しないでください。(☞ 29 ページ)

■めっき部(ハンドルなど)

●乾いた布でよくふいたあと、「さび止め油」か「ミシン油」でふき、余分な油をふき取ってください。

■次のような場所では、

〈湿気の多い場所・海岸沿い・工場地域・エアコンの室外機のそば・自動車の排気ガスのかかる所・鉄道の線路際など〉
●さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

■アルミリム使用車

●雨天走行後は、前リム側面のブレーキブロック接触面の砂や泥をふき取ってください。(黒く変色するのを防ぎます。)

■ステンレス部品

●ステンレスはさびにくい金属ですが、使用条件や環境によってさびることがあります。下記の点にご注意の上ご使用ください。
○ステンレスに付着した鉄粉などが、さびることによって「もらいさび」が発生しますので、お手入れを頻繁に行ってください。(例 : 鉄道や鉄工所の近辺での保管車、後車輪周りのステンレス部品など)
○ステンレスは塩素にも弱く、さびることがあります。塩分や塩素系の洗浄剤が付着したときは、乾いたあとでもさびが発生しますので、水を含ませた布などでしっかりふき取ってください。

お願い

●シンナー・ベンジンなどの有機溶剤、ガソリンなどの石油類薬品、酸性・アルカリ性の洗剤などは使用しないでください。(塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されたりします。)
●サドルには、ワックスをかけないでください。(座ったとき衣服が汚れたり、滑ります。)

注 油 に つ い て

⚠ 警告

■リムやブレーキブロック(ゴム部) には、油脂類を付けない

禁止

ブレーキが利かなくなり、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

注油場所と注油禁止場所

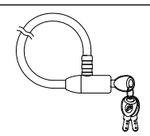
このマークは、注油場所を示します。

このマークは、注油禁止場所を示します。

お願い

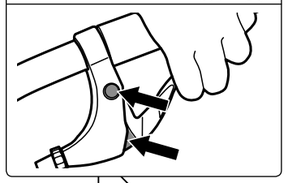
●油の種類は、必ず、自転車用油を使用してください。(食用油などは、硬化するおそれがあります。)
●余分な油は、乾いた布でふき取ってください。
●オプション部品についても、同様のメンテナンスをお願いします。

ワイヤ錠

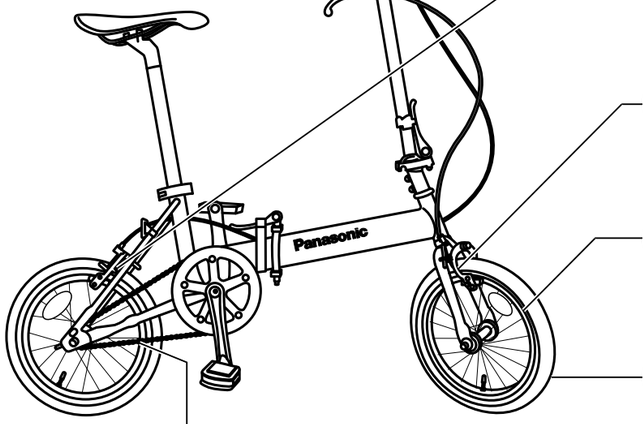


キー穴に注油。
(さびによる動作不具合を防ぎます。)

ブレーキレバー〈前・後〉



レバーの可動部とワイヤの固定部に注油。
(ワイヤがさびて、切れやすくなるのを防ぎます。)



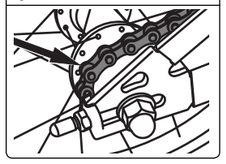
後ブレーキ
(ブレーキブロック)

前ブレーキ
(ブレーキブロック)

リム〈前・後〉

タイヤ〈前・後〉
ついた油は、すぐふき取る。
(ひび割れなど老化を防ぎます。)

チェーン



クランクを回しながら注油し、余分な油は、ふき取る。
(ほこりがつきやすくなるのを防ぎます。)

定 期 点 検／アフターサービス　　盗難補償

定 期 点 検

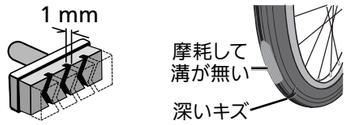
⚠ 警告

■定期点検は、必ず実施する

異常や故障の発見がおくれ事故発生によるけがのおそれがあります。

■部品の交換は、次の基準で実施する

- ●ブレーキワイヤは、異常が無くても 2 年に 1 回は、交換する。
- ●タイヤは、接地面（トレッド）の溝がなくなるまえに交換する。
- ●ブレーキブロックは、溝の残りが、1 mm になるまえに交換する。
- ●ブレーキブロックは、リムにあった純正ブレーキブロックに交換する。



ブレーキが利かなくなり、スリップのため転倒によるけがのおそれがあります。

点検と整備は、自転車の大切な健康診断です。
いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後初めての初回（2 か月以内）点検と、6 か月ごとの定期点検の実施をお願いします。（裏表紙の点検・整備チェックリストにて実施をお願いします。）

●初回（2 か月以内）の点検と整備

お買い上げ 2 か月ぐらいのご使用で、各部にねじの緩みが出ることがあります。
必ず、お買い求めの販売店または修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技士（自転車組立整備士）、もしくは同等の技術を有する者により点検・整備をお受けください。

●2 回目以降（6 か月ごと）の点検と整備

安全にご愛用いただくため、必ず継続してお受けください。

アフターサービス（修理を依頼されるとき）

●保証期間中は、 ▶	●保証対象かどうか（無償修理か有償修理か）は、お買い上げの販売店で自転車と品質保証書の内容を確認した上で、判断させていただきます。 ●インターネットなど通信販売でお買い上げの場合も、まず販売店にご相談ください。出張修理や補修部品の直接販売は弊社では行なっていません。
●保証期間が過ぎたあとは、 ▶	お買い上げの販売店にご相談ください。

※補修用性能部品の保有期間　6 年

当社は、この自転車の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、6 年保有しています。

盗 難 補 償

盗難補償制度とは、自転車をお買い上げいただいたお客様を対象に、ご購入日より 1 年以内に盗難にあわれた場合、本体希望小売価格（税抜）の 60 パーセントの負担で同一車種または同等の車種をお買い求めいただくことができる制度です。制度の詳細は下記のとおりです。※本体希望小売価格には消費税は含まれておりません。

ご購入時、CLUB Panasonic にてご愛用者登録をいただくか、ご愛用者登録はがきに必要事項をご記入の上、パナソニック サイクルテック愛用者登録係にご返送いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償が受けられます。

（1）盗難補償の期間と範囲

お買い上げの日から 1 年間以内の自転車（別売部品などを含む装着部品の盗難は除く）かつ、盗難日より 90 日以内に申し込みいただいた場合に限ります。

（2）盗難補償の申し込み要領

万一、盗難にあわれたときは、自転車保証書と盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの（警察受理ナンバーまたは盗難届出証明書など）に、盗難車の希望小売価格（税抜）の 60 パーセントの現金を添えて、お買い上げの販売店へお申し込みください。追って、販売店から新車をお渡しします。
※本体希望小売価格には消費税は含まれておりません

（3）盗難補償できない場合

①施錠せず盗難にあった場合	②（2）の書類がそろわない場合
③補償期間が過ぎている場合	④盗難補償車が、再度、盗難にあった場合
⑤防犯登録がされてない場合	⑥盗難車が見つかり、返ってきた場合
⑦景品などの贈呈品の場合	⑧愛用者登録をされていない場合

ご注意

- ●生産などの都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。
- ●新車をお渡しした時点より、盗難車の所有権は弊社に帰属します。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！ エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！

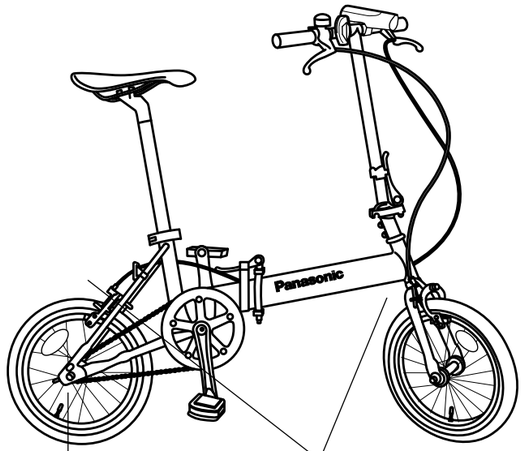
PC http://club.panasonic.jp/
携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※ご愛用者登録には、CLUB Panasonic 会員への登録が必要です。
※登録時は、商品の品番を事前にご確認ください。
※このサービスは WEB 限定のサービスです。

オプション　別売部品

取り付けのポイント

●安全にご乗車いただくため、必ず当社の純正部品をご使用ください。
（当社の純正部品以外をご使用されて、不具合が生じた場合は、保証の対象外になります。）
●オプション部品の品番は都合により変更することがありますので、取付けの際に販売店にご確認ください。（掲載している品番は 2014 年 4 月 現在のものです。）
●価格等詳細については、販売店にご相談ください。



スタンド
NCS905
スタンドを取り付けるとマグネットは使用できません。

どろよけ
NDD4998S
※道路状況により、泥はね、水はねなどを防げない場合があります。
※ロングどろよけは装着できません。

輪行バッグ

⚠ 警告
■警告表示マークは取り外さない
外したまま使用すると、事故発生の原因になります。
禁止

NAR137

※オプション部品（スタンド / どろよけ）を取り付けると、規定寸法外になるため、輪行バッグやロッカーに入らない場合があります。

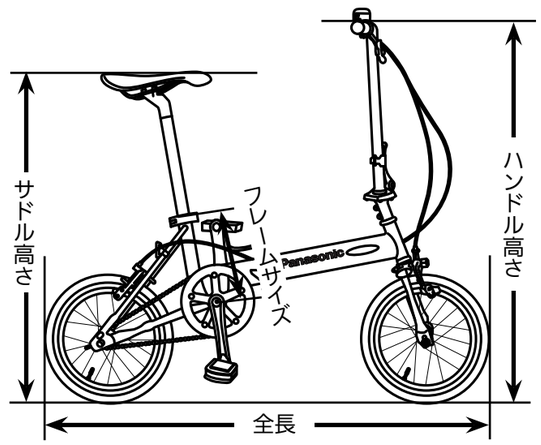
仕　様

品　番		B-PEHT323	B-PEMT323
寸法	フレームサイズ	230 mm	
	全長	1,158 mm	
	ハンドル高さ	930 mm	
	サドル高さ	690 mm ～ 898 mm	
	折りたたみ時	高さ : 550 mm/ 奥行き : 583 mm/ 幅 : 350 mm	
フレーム形状		特殊 H 型折りたたみフレーム	
ハンドル		オリジナル折りたたみハンドル	
フロントフォーク		カーボン	ハイテンノーマルクラウン
ペダル		折りたたみペダル（右のみ）	折りたたみペダル（左右とも）
ブレーキ		サイドプルブレーキ	
タイヤ（前後）		14 × 1.5 HE	
リム		14 × 1.5 HE	
チューブ		軽量ポリウレタンチューブ	ブチルチューブ
付属品		ワイヤ錠（ダイヤル式）	
乗車適応身長		130 cm ～ 175 cm	
股下寸法		62 cm ～ 80 cm	
質量		6.9 kg	7.7 kg

●乗車適応身長は片足がペダルに乗っているとき、もう片方のつま先が地面に着地できる身長を指します。
（☞ 6 ページ　■乗るまえに）

●乗車適応身長は、個人差がありますので、目安としてください。
●質量は、ライト／ワイヤ錠などの付属品を除いた数値です。
●寸法や質量は、部品のばらつきや仕様変更などにより、誤差が生じる場合があります。
●この車種は、総積載重量 65 kgで基本設計いたしております。従って、著しくオーバーした体重の方が、常用された場合は、消耗度合、劣化度合が大きくなることがあります。
● B-PEHT323 は、特に軽量化を追求した仕様になっております。

●寸法について



～メモ～

使いかた・お手入れ・修理などは **まず、お買い上げの販売店へ** ご相談ください。

パナソニック 総合お客様サポートサイト	商品に関する、**お客様ご相談窓口** 365日 受付9時～20時
http://www.panasonic.com/jp/support/	電話 フリーダイヤル **0120-781-603** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
	■上記番号がご利用いただけない場合 **(072) 977-1603**（有料ダイヤル）

※ご使用の回線（ひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

■取扱店や展示店のご紹介など、販売店に関するご相談は、お住まい近くの支店相談窓口が承ります。下記地域外のお客様は、フリーダイヤルへおかけください。

●各地域の支店相談窓口（営業時間／ 9:00 ～ 17:00）土・日・祝日・弊社指定の休日を除く

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。
※所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

東北地区（青森・岩手・福島・宮城）
東日本支店 (022) 382-7791

埼玉・群馬・栃木・茨城・新潟地区
東日本支店 (048) 723-5131

東京・千葉・神奈川・山梨地区
首都圏支店 (042) 490-5545

中部・東海地区（愛知・静岡・岐阜）
中部支店 (0587) 54-4111

近畿地区（大阪・兵庫・奈良）
近畿支店 (072) 975-4100

中国地区（広島・岡山・山口）
中国支店 (082) 870-7776

九州地区
九州支店 (092) 671-8648

愛情点検　定期点検をし、安全走行をしましょう！

こんな症状はありませんか	●異常な音がする ●がたつきや緩み ●車輪の振れ ●ブレーキの利きが悪い	▶	ご使用中止	事故防止のため、必ず販売店に点検、整備を依頼してください。

便利メモ（覚えのため、記入されると便利です。）

販売店名	
お買い上げ日	年　月　日
電話	(　　)　－
品番	
車体番号	
キー番号	
防犯登録番号	

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック サイクルテック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。